



2020-2021 年度  
12月号  
NO. 375

強調月間

**EMC-MC**

# THE Y'S MEN'S CLUB OF

# TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソウル) 主題:「変化をもたらそう」  
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」  
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」  
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」

## 12月例会(zoom)



と き 2020年12月12日(土)  
19:00~20:30  
Zoom による WEB 開催。  
飲物・食べ物など用意し、Zoom 例会  
を楽しみましょう。

### ✚ 今月の聖句 ✚

『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を知る者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』

-ヨハネによる福音書3章16節-

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
神が独り子を与えるほどに世を愛し、独り子の犠牲に免じて世を救い、信じる者に永遠の命を約束されたというクリスマスメッセージは、現代文明の緊張と苛立ちの中では度はずれた愛に満ちていて愚かにさえ見えるかもしれません。しかし神はこざかしい人間には愚かに見えるほど一途に世を愛し、神から離れて不安になる人間を救うために、最も大切なみ子を世に贈られたのです。私達が神の愛に気づいて悔い改めるために、この世に贈られたのです。

## 11月例会報告

千代一郎

11月例会は、11月12日(木)18時30分より東陽町センターで開かれた。須田会長の開会あいさつのあと、今回の講師として招いた松浦隆夫氏(私の高校時代の友人)の紹介をし、松浦氏によるゲストスピーチ「サピエンス全史(ユヴァル・ノア・ハラリ著)」についてお話を伺った。

1)近代科学と資本主義の発展：西暦1500年以降の近代において、経験的観察結果に基づき新しいテクノロジーを生み出す科学的革命が起こった。また、将来の収入に見合う資金を供給する「新たな信用制度」と、紙幣機能と利益の生産への再投資が経済成長に繋がるという「資本主義の理論」が普及し、さらに株式会社や金融制度が整備され、資本主義が発展した。

2)産業の推進力：蒸気機関の発明に伴う生産性向上と供給量増大により、拡大再生量と大衆消費主義が実現した。富める者はさらに儲けるために時間を使い、一般大衆は自らの欲望に従い益々多く買う事を是と考えた。

3)国家と市場による世界平和と新秩序：産業革命によりエネルギー変換と財の生産への新たな道が誕生し、時間表と製造ラインが人間活動を定型化した。この200年間の危激でダイナミックな政治的・経済的等の諸変化を経て、この70年は人類史上最も平和な時代となった。



## 11月例会

出席者 9名 ゲスト 1名  
会員出席数 8名  
在籍数 15名  
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 57%

## スマイル

11月 8,000円  
累計 35,000円

## 2020-2021 年度役員

会長 須田哲史  
副会長 高野真治  
書記 金丸満雄  
会計 千代一郎  
担当主事 沖 利柯

4) 超ホモサピエンス：遺伝子及び生物学等の発達により、ホモサピエンス(現生人類)の整理諸機能・寿命及び知的・情趣的能力等の多大な改変の可能性のため、我々は今後異なる体形と異なる認知・情趣世界を持った、全く異質の存在に取って代わられる事が十分に考えられる。

以上が卓話の内容で、歴史学者ハラリの視点からのサピエンス論は興味深く、有意義に感じました。終了後は意見交換を行い、各種報告とスマイルで閉会した。

\*\*\*\*\*

## 第2回関東東部評議会

第2回関東東部評議会が11月16日(土)東陽町センター「YMCAホール」に於いて開催された。

(コロナ感染防止のため、第2回評議会はハイブリッド形式で行われた。会場参加：18名、zoom参加：11名、委任状：3名)

定刻の13時30分柿沼敬喜部長の開会点鐘で開会。部長より活動報告、第24回部大会報告、千葉ウエストクラブチャーター報告、東日本区役員会報告等々が報告された。各事業主査より前期の活動報告がされ、続いて各クラブの会長より、コロナ禍の中で苦労した活動報告と後期に向けて抱負と問題点が述べられた。休憩後、議長に柿沼部長を選出し議案審議が行われた。第1号議案「第1回評議会議事録の件」=承認。第2号議案「第24回関東東部部大会会計報告の件」=承認。第3号議案「催促の部長選出グループ分けの件」=千葉ウエストクラブがAグループに入る事が承認。第1号協議案「印鑑廃止の件」=ひがし須田会長より提案され、次回評議会までに検討し決定することに承認。以上が承認され最後にYMCAの歌で評議会は終了した。(ひがし出席者：須田、金丸、千代)



\*\*\*\*\*

### 強調月間 (EMC-MC)

EMCとは、Extension(クラブ拡張)Membership(会員増強)Conservation(維持啓発)の略です。

12月は会員増強&維持啓発運動の強調です。

東日本区Change! 2022 プロジェクトは、2022年までに会員を1,246名(東日本区発足時の会員数)にしようという目標を掲げています。目標達成に向けて仲間を増やしましょう。

### ▼秋の山中湖キャンプ

障がいのある子どもたちを対象とした「三菱商事・YMCA秋の山中湖キャンプ」は、今年はコロナウイルス感染防止に配慮しながら、ファミリーキャンプとして開催しました。10月17日～18日、山中湖センターに14家族とボランティアリーダー、三菱商事の社員ボランティア他、総勢67人が集い、クラフトやレクリエーション、カヌーなどを楽しみました。

### ▼YMCA/YWCA合同祈禱週礼拝

11月12日、東京YWCAと在日韓国YMCAとの共催で、「YMCA/YWCA合同祈禱週礼拝」を社会体育・保育専門学校を会場に開催しました。コロナウイルス感染拡大防止の観点から、直接会場への集合の他オンライン参加も受け付け、68名(内オンライン出席は31名)が出席。日本キリスト教協議会総幹事の金性済(キム・ソンジェ)牧師より、「神の約束、我らの誠実—コロナ禍とノアの箱舟」と題して説教をいただきました。席上献金35,214円は「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」の活動のために献げられました。

### ▼Amazon みんなで応援プロジェクト

11月18日よりAmazonによるチャリティープロジェクト「みんなで応援」プログラムが開始され、全国のYMCAも支援を受けることになりました。これは各団体が希望する物資の「ほしい物リスト」をAmazonのサイトに公開し、賛同者がリストから購入した商品が支援先に寄贈される取り組みで、東京YMCAも「下町こどもダイニング」(こども食堂)や「にじいろ」(在日外国籍のこどもへのほんごサポート)で活用する備品等をアップしました。

### ▼クリスマスミニバザー開催

クリスマスオープンハウスに代えて、12月1日～5日まで東陽町コミュニティーセンターロビーでクリスマスミニバザーを開催しました。年とは違う取り組みとなりましたが、蜜を避け、このような形をとりました。近隣の明治安田生命の社員もボランティアとして参加して下さり、それなりの賑わいの中で実施されました。

益金はまだ集計中ですが、10万円以上が集まり、地域活動や国際協力募金などに用いる予定です。

